

八ヶ岳大同心南稜登攀報告

日程：2012年5月15日(土)

山域：大同心南稜(八ヶ岳)

参加者：久世(L)・松林

行程：調布駅南口出発(0:45) - 美濃戸山荘駐車場(2:45/7:00 車中仮眠) - 赤岳鉱泉(8:30/8:40) - 大同心南稜取り付き(10:30/10:45) - 終了点(12:00) - 大同心ルンゼ
経由取り付き点 - 赤岳鉱泉(13:15/13:30) - 駐車場(14:30)
- 延命の湯経由帰京 - 府中駅解散(18:00)

天気：大同心は曇り一時晴れ、低温で風強い

諸事情から金曜 23 時出発予定が伸び、00:45 調布駅出発になった。ゴールデンウィーク明けの土曜日だったこともあって、3 時前に着いた美濃戸山荘下の駐車場(1 日 1000 円)には車は 3 台程のガラガラ状態だった。今回、廣岡さんが体調不良で不参加となり 2 人だけなので車の中で 3 時間ほど仮眠をして 7 時に駐車場を出発。

赤岳鉱泉手前に所々残雪があったが登山路はほとんど無雪で乾いていた。日帰り登攀なので空身状態。1 時間半後の 8:30 に赤岳鉱泉に到着。美濃戸山荘まで車で入れると 1 時間は短縮できるので睡眠不足の体には大助かりだ。連休明けの雪の解けた鉱泉のテント場に張られたテントは 1 張りのみで閑散としていた。

あいにく大同心はガスがかつて山頂ドームは時々見える程度。晴天のはずだったが山頂部はイマイチの天気だった。山荘裏から硫黄岳への林間の一般登山路へ入ると雪もタツプリと残っている。大同心沢の立ち入り禁止のロープと看板をくぐって沢に入り込んだ。連休後はほとんど人が入り込んでいないようで、トレースは消えていた。



大同心稜に乗り上げる手前にもロープと立ち入り禁止の看板があったのだが、かなり手前で稜線に上り込んでしまった。樹林帯を抜けた稜線上部の日当りのよい斜面になると雪の無いところが多くなってくる。

大同心、小同心山頂には雲が湧いているが、足元の赤岳鉱泉や諏訪湖方面の眺望は良い。

2時間少々で大同心基部の取り付き点に到着し荷物をデポしてアンザイレン。誰もいない。10:45。

ツララや岩陰の残雪はコチコチだから氷点下なのだろう、じっとしていると寒い。

ここからは久世さんリード。



1p は約 40m。岩場は立っているが、雪が無いのでガバだらけだが岩がもろい。ホールドもスタンスも豊富だから難しくは無い。ただ、風が強くて冷たい。風がフリースを抜けて体に当たる。動いていないと指先の感覚が薄れてゆく。

ビレイ点では薄着の久世さんが震えていた。休むまもなく 2p、25m。3p 目は 15m のトラバースでドームの基部に到着。エッ？ もう終わり？ 物足りなさを残しながら大同心ルンゼを取り付き点まで戻り今回はこれで終了。



往路をひたすら下りて1時過ぎに赤岳鉱泉に戻る。ここからはポカポカの春山陽気を下山。
14:30 駐車場着。61歳の誕生日山行としてはまだまだやれるかな!?という自信がもてた満足の
行くトレーニング山行でした。久世さんありがとう。
(記: 松林)